



志賀直哉邸跡書斎修復プロジェクトを開始

我孫子市にとって大切な「我孫子遺産」である志賀直哉邸跡書斎を修復するために、クラウドファンディングを行います。

募集期間：令和3年9月1日（水）～令和4年1月5日（水）

目標額：80万円

募金方法：さとふるのホームページで募金を行います。

令和3年は、志賀直哉没後50年、白樺文学館開館20周年、志賀直哉邸跡書斎が建てられて100年のメモリアルイヤーとなります。それを記念し、我孫子市の文化財を保存する試みとして、初めてクラウドファンディングを行います。このクラウドファンディングでは、返礼品は設定していませんが、目的に賛同し寄付をいただいた方には、後日お礼の手紙と合わせて、報告書と3館共通券を送付します。

今回修復する志賀直哉邸跡書斎は大正10（1921）年、小説家、志賀直哉が設計し、我孫子の大工、佐藤鷹蔵が建てたもので、今年で築100年になります。志賀はここで、長編小説「暗夜行路」を執筆しました。その後、他所に移築された書斎でしたが、昭和62（1987）年、市民の手により守られ、元あった緑雁明緑地に再び移築されました。書斎は、我孫子市の歴史を語る上で重要な文化財であるため、平成23（2011）年に市の指定文化財になりました。

書斎は手賀沼のほとり、崖下の雁明緑地にあり、周囲には池や木々が生い茂り、志賀が住んでいた当時の我孫子の雰囲気を残しています。しかし、近年、風雨などによる経年劣化や、志賀が話していたように多湿な場所であることから、建物を修復する必要がでてきました。

現在、書斎の公開日は土・日曜日と祝日の10時～14時ですが、修復後は、書斎をより身近に感じてもらえるよう公開日時も延長します。

【問い合わせ】

我孫子市教育委員会 生涯学習部

文化・スポーツ課 担当 齊藤・今野

☎ 04-7185-1583